

取扱説明書  
保証書

# DIGNO<sup>®</sup> Phone

目次

---

安全上のご注意

---

基本操作

---

文字入力

---

電話

---

電話帳

---

メール

---

インターネット

---

カメラ

---

テレビ (ワンセグ)

---

端末設定

---

付録

---

## ごあいさつ

このたびは、「DIGNO® Phone」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に「取扱説明書」(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

最新の「取扱説明書」につきましては、UQコミュニケーションズのホームページをご参照ください。

- URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- auが提供しているサービスはご利用になれませんので、あらかじめご了承ください。

## 同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



電池パック  
(KYF31UAU)

- 取扱説明書・保証書(本書)

### 周辺機器(オプション品)のご紹介

- 共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)



### memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

## 本製品をご利用いただくにあたって

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
  - ・SIMカードを取り付けると、本製品での通話、データの送受信が可能になります。本製品がネットワークに接続されない場合は、UQスポットまたはUQお客様サポートセンターにお問い合わせください。
  - ・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
  - ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください(ただし、LTE/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております)。
  - ・日本国内の緊急機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
  - ・本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
  - ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
  - ・「携帯電話の保守」と「稼働状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的に通信事業者に送信いたします。
  - ・海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
  - ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
  - ・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
  - ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
  - ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影したフォトデータやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
  - ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  - ・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  - ・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
  - ・本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
  - ・本製品で使用しているメインディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
  - ・撮影などしたフォト/ムービーデータや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
  - ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：UQコミュニケーションズ株式会社

UQモバイル沖縄株式会社

製造元：京セラ株式会社



## memo

◎ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

## マナーも携帯する

### ■ こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

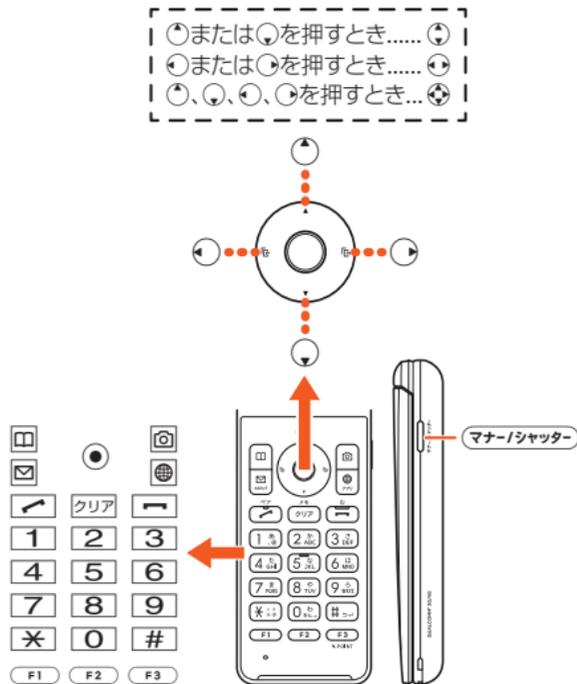
### ■ 周りの人への配慮も大切

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まってるの通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

## 本書の表記方法について

### ■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



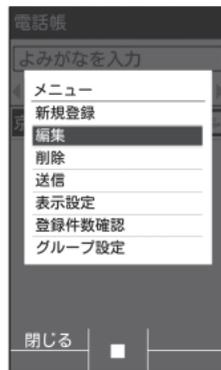
### ■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、○や○でメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して○(OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を、[名称]と省略して表記しています。

例：電話帳の連絡先を編集する場合

#### 1 待受画面で☐→編集する連絡先を選択→☐(メニュー)→[編集]

「編集」を○で選択して、○で決定する操作を表しています。



#### memo

- キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.51)をご参照ください。

## ■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。  
また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



◎ 本書では「microSD™メモリーカード」および「microSDHC™メモリーカード」の名称を「microSDメモリーカード」もしくは「microSD」と省略しています。

## 緊急警報を利用する

緊急警報アプリを利用します。

- 1 待受画面で●→[電話・メール]→[緊急警報]  
緊急警報を確認できます。

### memo

- ◎ 本書は、UQ mobile Multi IC Card 01を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
- ◎ 本書では、キーや画面、アイコンは本体カラー「ホワイト」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のキーや画面、アイコンとは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 画面最下行に表示された内容を●/□/◎/◎/◎/◎を押して実行する場合、□(メニュー)のようにカッコ内に内容を表記します。  
※ただし、●(OK)/●(選択)/●(設定)/●(決定)/●(確定)の場合は省略して●のみ表記しています。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「UQ mobile Multi IC Card 01」の名称を「SIMカード」と表記しています。

## 目次

ごあいさつ	ii
同梱品一覧	ii
本製品をご利用いただくにあたって	1
マナーも携帯する	2
本書の表記方法について	3
緊急警報を利用する	4
目次	5

## 安全上のご注意

安全上のご注意(必ずお守りください)	8
取り扱い上のお願ひ	16
ご利用いただく各種暗証番号について	19
PINコードについて	19
防水・防塵・耐衝撃性能に関するご注意	20
ご使用にあたっての重要事項	20
快適にお使いいただくために	21
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について	26
2.4GHz帯ご使用上の注意	26
データ通信料についてのご注意	27
アプリケーションについて	27

## 基本操作

各部の名称と機能	28
スマートソニックレシーバーについて	30
電池パックを取り付ける/取り外す	31
電池パックを取り付ける	31
電池パックを取り外す	32
SIMカードについて	33

SIMカードを取り付ける/取り外す	34
SIMカードを取り付ける	34
SIMカードを取り外す	35
microSDメモ리카ードを利用する	36
microSDメモ리카ードを取り付ける/取り外す	36
microSDメモ리카ードを取り付ける	36
microSDメモ리카ードを取り外す	38
充電する	39
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	39
電源を入れる/切る	41
電源を入れる	41
電源を切る	41
強制的に電源を切り再起動する	41
UQ mobileポータルアプリ設定を行う	41
タッチポインターを利用する	43
タッチポインターの操作について	43
待受画面を利用する	45
待受画面のショートカットを利用する	45
待受画面のウィジェットを編集する	45
ステータスバーを利用する	46
アイコンについて	46
通知/設定パネルを利用する	47
サブディスプレイを利用する	48
メインメニューを利用する	48
メインメニューを変更する	50
カスタムメニューを利用する	50
カスタムメニューにアプリを登録する	50
アプリを並び替える	50
アプリを削除する	50
共通の操作を覚える	51
基本的なキー操作を覚えよう	51
チェックボックスを利用する	52

本体を閉じたときにマナー／シャッターキーの操作を無効にする .....	52	Eメールアドレスを変更する .....	65
<b>文字入力</b> .....	<b>53</b>	SMSを送る .....	66
文字入力の方法を覚える .....	53	SMSを受け取る .....	66
<b>電話</b> .....	<b>56</b>	<b>インターネット</b> .....	<b>67</b>
電話をかける .....	56	インターネットに接続する .....	67
電話番号を入力して電話をかける .....	56	データ通信を利用する .....	67
履歴を利用して電話をかける .....	57	ブラウザを利用する .....	67
スピードダイヤルで電話をかける .....	58	ブラウザメニューを利用する .....	67
海外へかける .....	58	タッチポインターで操作する .....	67
電話を受ける .....	59	<b>カメラ</b> .....	<b>68</b>
かかってきた電話に出る .....	59	カメラをご利用になる前に .....	68
着信を拒否する .....	59	撮影画面の見かた .....	69
自分の電話番号を確認する .....	59	フォト／ムービーを撮影する .....	70
プロフィールを確認する .....	59	<b>テレビ(ワンセグ)</b> .....	<b>71</b>
プロフィールを編集する .....	59	テレビ(ワンセグ)について .....	71
<b>電話帳</b> .....	<b>60</b>	テレビの初期設定をする .....	72
電話帳に登録する .....	60	テレビ番組を見る .....	72
電話帳の一覧を利用する .....	60	テレビ番組を視聴する .....	72
電話帳一覧画面を表示する .....	60	<b>端末設定</b> .....	<b>74</b>
電話帳の登録内容を利用する .....	61	設定メニューを表示する .....	74
<b>メール</b> .....	<b>62</b>	無線LAN(Wi-Fi <sup>®</sup> )機能について .....	74
Eメールの初期設定を行う .....	62	無線LAN(Wi-Fi <sup>®</sup> )機能を利用する .....	75
Eメールを確認する .....	62	無線LAN(Wi-Fi <sup>®</sup> )機能をONにする .....	75
Eメールを送る .....	64	Wi-Fi <sup>®</sup> ネットワークに接続する .....	75
Eメールを受け取る .....	65	アクセスポイントとの接続を切る .....	76

付録..... 77

故障とお考えになる前に .....	77
ソフトウェアを更新する .....	78
ソフトウェアをダウンロードして更新する .....	79
アフターサービスについて .....	79
主な仕様 .....	80
携帯電話機の比吸収率(SAR)について .....	82
FCC Notice .....	83
European RF Exposure Information.....	84
INSTRUCTION MANUAL FOR BATTERY PACK (KYF31UUAU) .....	84
Declaration of Conformity.....	85
おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意.....	85
1.おサイフケータイ®対応サービスについて .....	85
2.FeliCaチップ内のデータの取り扱い等について .....	85
3.FeliCaチップの固有の番号等の通知について .....	86
4.不正利用について .....	86
5.その他 .....	86
おサイフケータイ®の機能をロックする .....	87
知的財産権について .....	87
OpenSSL License .....	90

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

### ■ 表示の説明

 <b>危険</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 <sup>(※1)</sup> を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 <b>警告</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 <sup>(※1)</sup> を負うことが想定される内容」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷 <sup>(※2)</sup> を負うことが想定される内容や物的損害 <sup>(※3)</sup> の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

### ■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

**危険** 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

-  必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
-  高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
-  電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れてください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
-  火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
-  お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。

**警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ<sup>®</sup>の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。
-  金属製のアクセサリなどをご使用になる場合は、充電の際に外部接続端子、充電端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
-  落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
-  屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
-  外部接続端子や充電端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。
-  本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部だけがをする場合があります。



本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。



本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、電池パックなどから本製品などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。



自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故や転倒・転落事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。



乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。



充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。



## 注意 必ず下記のご注意事項をお読みになってからご使用ください。



背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。けがや故障の原因となる場合があります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災、故障の原因となります。



直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。



ぐらついた台の上や傾いた場所などに置いたり、不安定な場所で充電したりしないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。



本製品を長時間使用したり、外部電源と接続した状態では熱くなることがあります。本製品や指定の充電用機器（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。



本製品を充電する際は、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。



腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。



使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。



イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、少しずつ音量を上げて適度な音量に調節してください。始めから音量を上げすぎて突然大きな音が出たり、音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。



ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

## ■ 本体について



### 警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。



撮影ライト／簡易ライトをご使用になる場合は、人の目の前、自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて発光させないでください。また、撮影ライト／簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。



ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。



**注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

### ■「DIGNO® Phone」本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(LCDケース、KEYケース)	PC+GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(ヒンジカバー)、背面カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(LCDリアプレート)	SUS	アクリル系UV硬化塗装処理
赤外線ポート部、ウィンドウパネル部(メインディスプレイ)、カメラ(レンズ部)	PMMA樹脂	化学硬化処理
電話帳キー、カメラキー、メールキー、ブラウザキー、カーソルキー、発信/ペアキー、クリアキー、電源/終話キー、ダイヤルキー、センターキー	PMMA樹脂	—
キーシート	PET樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
クッション(ダイヤルキー下部)	UV硬化性樹脂	—

使用箇所	使用材質	表面処理
ウィンドウパネル部(サブディスプレイ)、充電/通知ランプ	PMMA樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
マナー/シャッターキー	PC樹脂	—
外部接続端子カバー	PC樹脂+TPE樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子	リン青銅	金メッキ処理(下地:ニッケル)



キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。



外部接続端子、microSDカードスロット、SIMカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。



通常は外部接続端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。



ストラップを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



本製品の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをする原因となることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。



砂浜などの上に直に置かないでください。送話口、スピーカ一部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

## ■ 電池パックについて



Li-ion00

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)

電池パックはお買い上げ時には、充分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。



**危険**

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



電池パックのプラス(+)とマイナス(-)をショートさせないでください。



電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。



くぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。



持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる発熱・発火・火災・漏液・故障の原因となります。



分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂・傷害の原因となります。



落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。発熱・発火・漏液・故障・傷害の原因となる場合があります。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。



電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火・故障・傷害の原因となります。誤って水などに落とすときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。



液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命です。ご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。



ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

## ■ 充電用機器について

**警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。  
・ ACアダプタ(別売): AC100~240V
-  指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
-  指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。
-  雷が鳴り出したら指定の充電器に触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。
-  お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、回路のショートの原因となります。
-  電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。
-  長時間使用しない場合は指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。

 水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。

 ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントに接続したままにしないでください。また、指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

**注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

-   風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。
-  指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
-  本製品から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電・傷害の原因となります。

## ■ SIMカードについて

 **注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

-  SIMカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

---

-  SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

---

-  SIMカードは、直射日光が当たったり高温となる場所やほとりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

---

-  SIMカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

## ■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

 **警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。
  1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
  2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
  3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
  4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

## 取り扱い上のお願ひ

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。

よくお読みになって、正しくご使用ください。

### ■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、背面カバー、外部接続端子カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままで背面カバーの取り付けや取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください)。\* 充電用機器\* 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です)。\* 本製品本体\* 電池パック・SIMカード(本製品本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 本製品には、シールなどを貼り付けしないでください。音が出なくなる場合や相手に音声が届かなくなることがあります。

### ■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品のキー部分(タッチエリア)を指で触れることでタッチパッドのように操作できますが(タッチポインター)、以下の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・ 手袋をしたままでの操作
  - ・ 爪の先での操作
  - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・ 保護シートやシールなどを貼った操作
  - ・ 水滴が付着または結露している状態での操作
  - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - ・ 水中での操作

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定などを受けており、その証として、「技術適マーク」が本製品本体内で確認できるようにとなっております。待受画面で●→[設定]→[その他の設定]→[端末情報]→[認証情報]本製品本体を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となりますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となりますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモ리카ードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。

- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバー内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、おサイフケータイ®の読み書きができなくなる場合があります。
- 通話中、送話口(マイク)を指などでおおわないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の状況に光センサーが反応できず、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

#### ■ タッチエリアについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、タッチエリアへの傷の発生や、破損の原因となります場合があります。
- タッチエリアにシールやシート類を貼らないでください。タッチポイントが正しく動作しない原因となります場合があります。
- タッチエリアが汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でタッチエリアを乾拭きしてください。

## ■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本製品から背面カバーを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

## ■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる携帯電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。

## ■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りの上ご使用ください。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

## ■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかに、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

## ■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

## ■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。本製品のFCC IDはJOYKA73です。また、以下の方法でも確認できます。確認方法:  
設定メニューを表示→[その他の設定]→[端末情報]→[認証情報]

## ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

### ■ 暗証番号

使用例	留守番電話サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

### ■ ロックNo.（「おサイフケータイロック」）

使用例	「おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

### ■ PINコード

使用例	第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

## PINコードについて

### ■ PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が必要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上で使用ください。

### ■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでお問い合わせください。
- PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

## 防水・防塵・耐衝撃性能に関するご注意

本製品は外部接続端子カバー、背面カバーが完全に装着された状態でIPX5相当<sup>※1</sup>、IPX8相当<sup>※2</sup>の防水性能およびIP5X<sup>※3</sup>相当の防塵性能を有しております。また、MIL規格準拠<sup>※4</sup>の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

具体的には、雨(1時間の雨量が20mm未満)の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

- ※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
- ※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本製品内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
- ※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。
- ※4 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7-Shockに準拠した落下試験(高さ1.22mから本製品を26方向で落下させる)を実施しています。  
日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

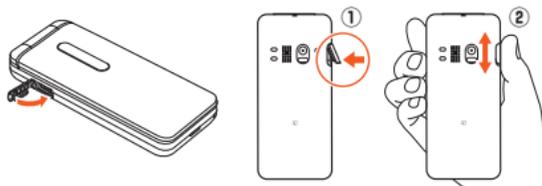
## ご使用にあたっての重要事項

- 外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、背面カバーは完全に装着した状態にしてください。
  - ・完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
  - ・接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  - ・手や本製品が濡れている状態での外部接続端子カバー、背面カバーの開閉は絶対にしないでください。



### 外部接続端子カバーの閉じかた

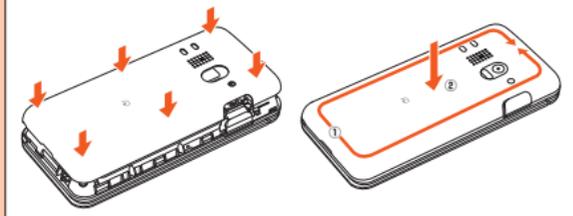
カバーのヒンジを収納してから外部接続端子カバー①のカバー全体を指の腹で押し込んでください。その後②の矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



**背面カバーの取り付けかた**

背面カバーと本体を合わせるように置き、背面カバーを取り付けます。

取り付け後、電池カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させます。



- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
- 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
- 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。



石けん・  
洗剤・入浴剤



海水



プール



温泉



砂・泥

**快適にお使いいただくために**

- 水濡れ後は本製品の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に背面カバー、キー部、充電端子部の水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口（マイク）に水がたまり、一時的に音が伝わりにくくなった場合は水抜きを行ってください。

**■ 利用シーン別注意事項****<雨の中>**

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- ・ 雨とは、「やや強い雨」の場合（1時間の雨量が20mm未満まで）を指します。
- ・ タッチエリアに水滴が付着していると、タッチポインターが誤動作する場合があります。
- ・ 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、背面カバーの開閉は絶対にしないでください。

**<シャワー>**

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- ・ 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

**<洗う>**

やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- ・ 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- ・ 洗うときは背面カバーをしっかりと閉じた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- ・ 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- ・ 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

### <お風呂場>

お風呂場で使用できます。

- 濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- お風呂場で長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- テレビ(ワンセグ)を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- ACアダプタ(別売)をお風呂場へ持ち込まないでください。

### <プールサイド>

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水\*で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。  
※やや弱めの水流(6リットル/分以下)

### <キッチン>

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ(ワンセグ)を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

## ■ 共通注意事項

### ■ 外部接続端子カバー、背面カバーについて

外部接続端子カバーはしっかりと閉じ、背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。外部接続端子カバーを開閉したり、背面カバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。外部接続端子カバー、背面カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

### ■ 水以外が付着した場合

万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃~35℃)の水道水で洗えます。汚れた場合、ブラシなどは使用せず、背面カバー、外部接続端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

### ■ 水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、背面カバーを外さないで、本体、背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません)。

## ■ ゴムパッキンについて

外部接続端子カバー周囲のゴムパッキン、背面カバーを開けたときの本体側のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

外部接続端子カバー、背面カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

外部接続端子カバー、背面カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。

## ■ 充電について

本製品が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。付属品、オプション品は防水性能を有していません。

## ■ 防水性能について

耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル/分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当たって痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当たらないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

本製品は水に浮きません。

## ■ 耐熱性について

熱湯・サウナ・熱風(ドライヤーなど)は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

## ■ 衝撃について

投げつけたり、無理な落としかたをするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

また、送話口(マイク)、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

## ■ 水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

下記手順で水抜きを行ってください。

- 1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。**

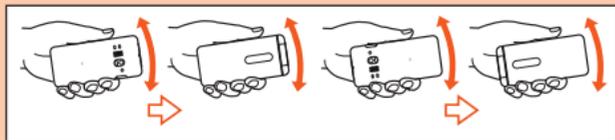


- 2 振りかたについて**

①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。

※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。

※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

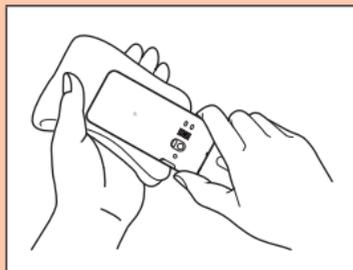


②出てきた水分を拭き取ります。

※ 送話口(マイク)、スピーカー、充電端子部は特に水が抜けにくいので、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

- 3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口(マイク)・スピーカー・ヒンジ部・外部接続端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。**



- 4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。**

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るものそばには置かないでください。

また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

## ■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子カバーを開いてください。
- 充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

## Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能 について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

## 2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
  3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでお問い合わせください。
- ・本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
  - ・無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
  - ・無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
  - ・Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

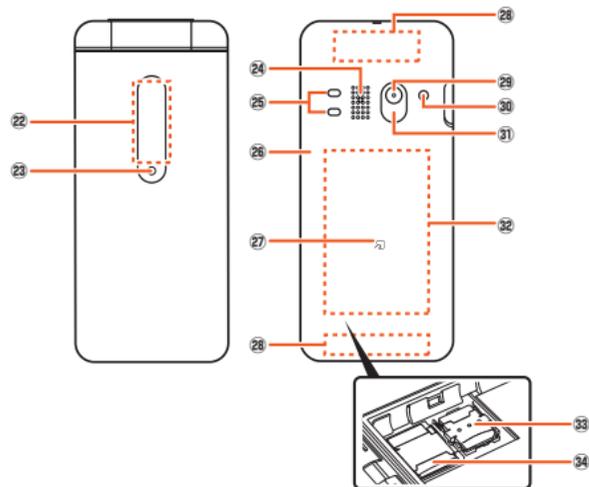
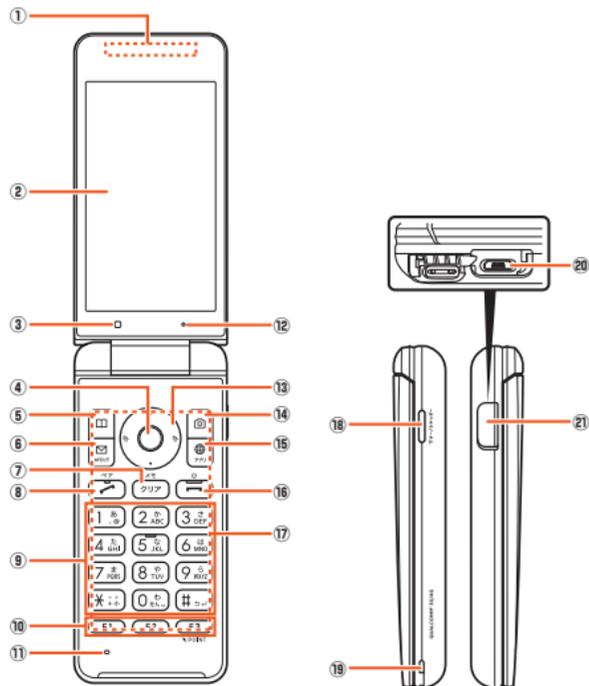
## データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどの取得、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。  
※無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はデータ通信料はかかりません。

## アプリケーションについて

- アプリの取得は安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様が取得したアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が取得したアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリーカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中にディスプレイが自動消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリや取得したアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

## 各部の名称と機能



- ① 受話部(レシーバー)  
スマートソニックレシーバー(▶P.30)で通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
- ② メインディスプレイ
- ③ 光センサー  
「明るさのレベル」を「光センサー」に設定時に明るさを感知します。
- ④ ●センターキー
- ⑤ □電話帳キー
- ⑥ □メールキー
- ⑦ クリアクリアキー
- ⑧ □発信/ペアキー
- ⑨ □0~9、\*、#ダイヤルキー

### ⑩ **F1** ～ **F3** カスタマイズキー1～3

カスタマイズキーで割り当てたアプリを起動します。  
また1秒以上長押しすると、それぞれのキーで以下の操作ができません。

**F1** を1秒以上長押し: アプリ履歴を表示

**F2** を1秒以上長押し: 通知を表示

**F3** を1秒以上長押し: タッチポインターに対応した機能/アプリの起動中にタッチポインターのON/OFF切り替え

### ⑪ 送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などでおおわないようにご注意ください。

### ⑫ エアイベント

本製品は防水/防塵仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、エアイベント(空気抜き用の穴)を設けています。

- エアイベントは防水/防塵性能に影響を与えません。
- 保護シートやシールでエアイベントをふさがないでください。

### ⑬ **カーソルキー**

○ 左キー / 着信履歴

○ 右キー / 発信履歴

○ 上キー

○ 下キー

### ⑭ **カメラキー**

### ⑮ **ブラウザーキー**

ブラウザメニューを表示します。

### ⑯ **電源 / 終話キー**

操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源を切ることができます。

### ⑰ **タッチエリア(タッチポインター)**

本製品のタッチエリアに指で触れることでタッチパッドのように操作できます。(▶P.43)

### ⑱ **マナー/シャッターキー**

待受画面で押すと、マナーメニューを呼び出します。待受画面または本製品を閉じた状態で1秒以上長押しすると、マナーモードを設定/解除します。  
カメラ起動中に押すと、フォトを撮影/保存します。

### ⑲ **ストラップ取付部**

### ⑳ **外部接続端子**

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などの接続時に使用します。

### ㉑ **外部接続端子カバー**

### ㉒ **サブディスプレイ**

着信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

### ㉓ **充電/通知ランプ**

充電中は赤色で点灯します。  
着信時は設定内容に従って点滅します。

### ㉔ **スピーカー**

着信音やアラーム音などが聞こえます。

### ㉕ **充電端子**

### ㉖ **背面カバー**

### ㉗ **マーク**

おサイフケータイ<sup>®</sup>利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。

### ㉘ **内蔵アンテナ部**<sup>\*</sup>

通話時、インターネット利用時、テレビ(ワンセグ)利用時、GPS情報取得時、Bluetooth<sup>®</sup>利用時、4G(LTE)利用時などに使用します。

### ㉙ **カメラ(レンズ部)**

### ㉚ **撮影ライト/簡易ライト**

撮影ライト/簡易ライト使用時に明るく点灯します。

### ㉛ **赤外線ポート**

赤外線通信で、データの送受信を行います。

### ㉜ **NFC・FeliCaアンテナ部**<sup>\*</sup>

### ㉝ **SIMカードスロット**

#### ④ microSDカードスロット

※ アンテナ部付近を手でおおったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話/通信品質に影響を及ぼす場合があります。

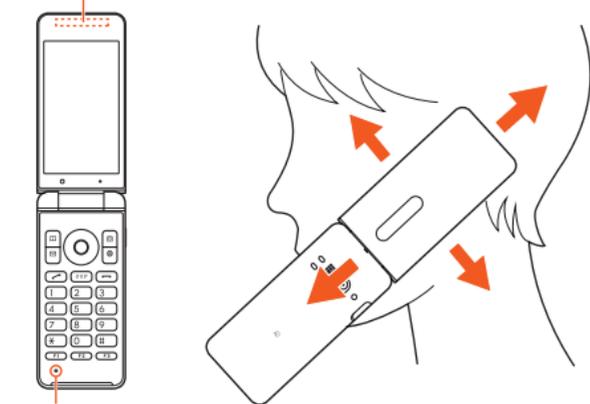
### スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

### ■ 耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳をおおすることで周囲の騒音を遮へいし、音声により聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

受話部(レシーバー)



送話口(マイク)

#### memo

- 通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
- イヤホン(市販品)を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- 聞き取りやすさには個人差があります。
- 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

## 電池パックを取り付ける／取り外す

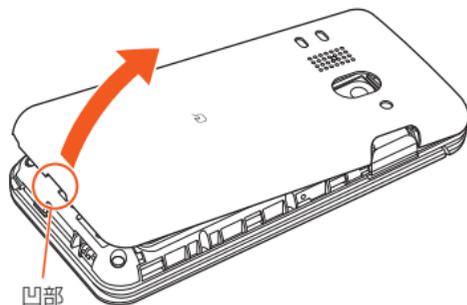
電池パックの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

- 本製品専用の電池パックをご利用ください。

### 電池パックを取り付ける

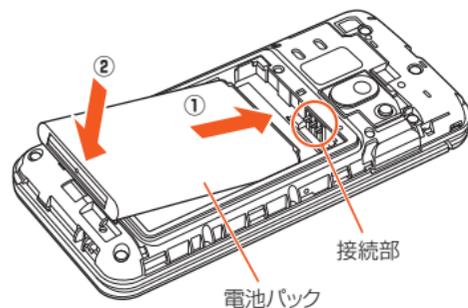
#### 1 本体裏面の背面カバーを取り外す

背面カバーの凹部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



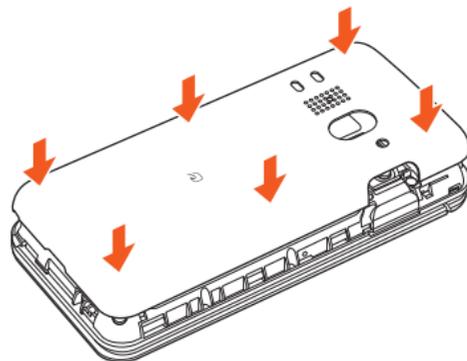
#### 2 電池パックを取り付ける

接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込んでください。



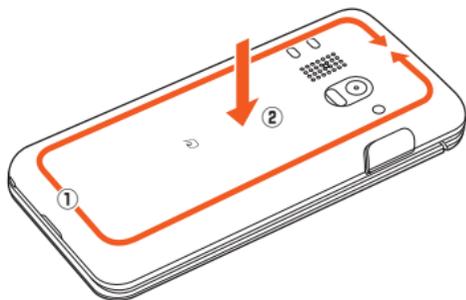
#### 3 背面カバーを取り付ける

背面カバーと本体を合わせるように置き、背面カバーを取り付けます。



#### 4 背面カバー全体に浮きがないようにしっかりと押さえる

電池カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかりと押さえ、完全に装着させます。



#### memo

- SIMカード、microSDメモ리카ードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
- 防水性能を保つために、背面カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。
- 間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバー破損の原因となります。

## 電池パックを取り外す

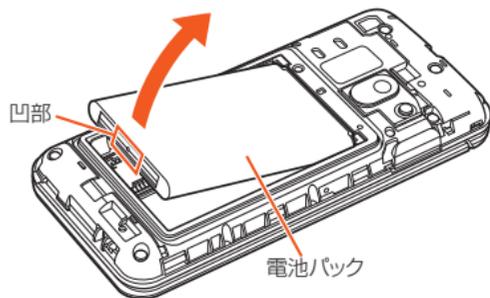
電池パックの取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

### 1 本体裏面の背面カバーを取り外す

(▶P.31「電池パックを取り付ける」)

### 2 電池パックを取り外す

電池パックの凹部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外してください。



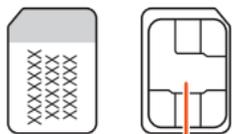
### 3 背面カバーを取り付ける

(▶P.31「電池パックを取り付ける」)

## SIMカードについて

SIMカードにはお客様の電話番号などが記録されています。  
本製品はUQ mobile Multi IC Card 01に対応しております。

UQ mobile Multi IC Card 01



IC(金属)部分

### memo

- ◎ SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - ・ SIMカードのIC(金属)部分や、本体のSIMカード用端子には触れないでください。
  - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
  - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ SIMカードを正しく取り付けしていない場合やSIMカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

## ■ SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「」が表示されます。

- ・ 電話をかける\* / 受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ Eメールの初期設定および送受信
- ・ PINコード設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、GSM/UMTSローミング中で電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。

## ■ PINコードによる制限設定

SIMカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.19「PINコードについて」)。

## SIMカードを取り付ける／取り外す

SIMカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

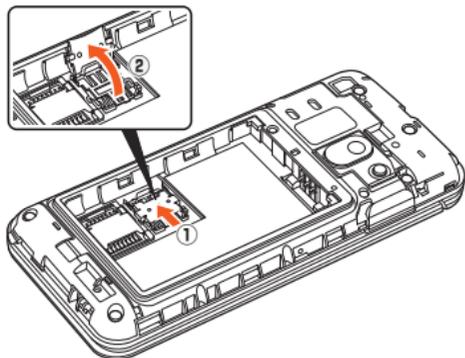
### SIMカードを取り付ける

#### 1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.32「電池パックを取り外す」)

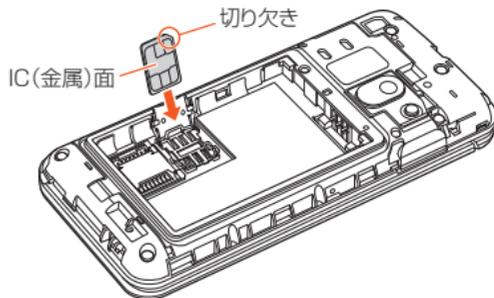
#### 2 SIMカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つける恐れがあります)。



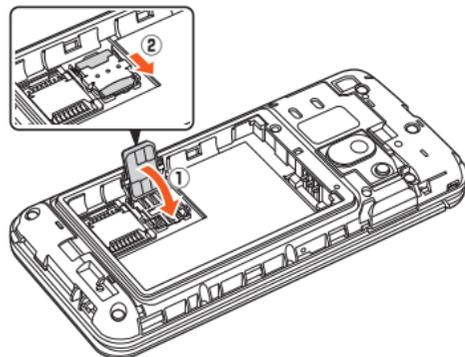
#### 3 SIMカードを矢印の方向にスライドさせ、SIMカードスロットカバーに取り付ける

切り欠きの位置とIC(金属)面の向きに注意してください。



#### 4 SIMカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする

カバーがうまく閉じない場合は、いったんカバーを持ち上げて、SIMカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。



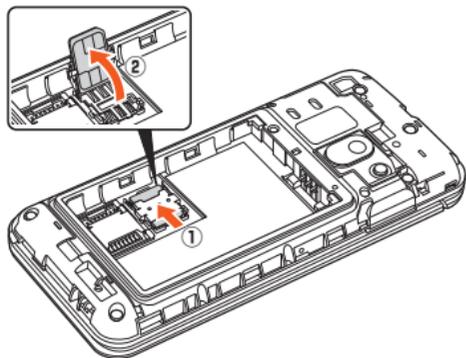
- 5** 電池パック・背面カバーを取り付ける  
(▶P.31「電池パックを取り付ける」)

## SIMカードを取り外す

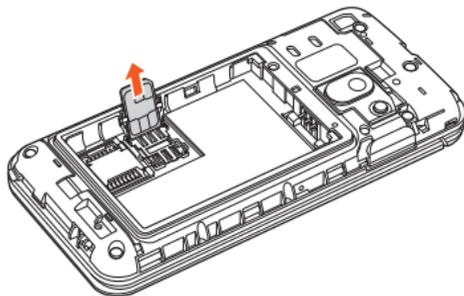
- 1** 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す  
(▶P.32「電池パックを取り外す」)

- 2** SIMカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

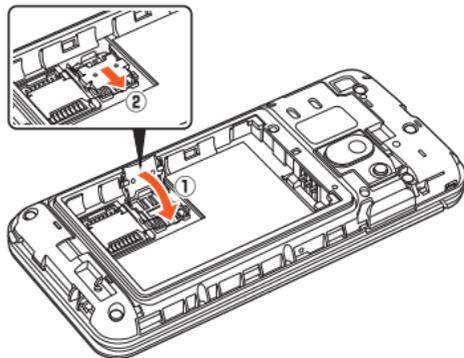
カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つける恐れがあります)。



- 3** SIMカードを矢印の方向にスライドさせ、SIMカードを取り外す



- 4** SIMカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする



- 5** 電池パック・背面カバーを取り付ける  
(▶P.31「電池パックを取り付ける」)

## microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)を本製品に取り付けて、データを保存/移動/コピーができます。

・あらかじめ保護カードが取り付けられています。microSDメモリカードを使用しないときは、金具のたがつきによる音の発生防止のために本製品に保護カードを取り付けてご使用ください。

※保護カードはmicroSDメモリカードの未使用時に取り付けるものですが、未装着による本製品への悪影響はありませんのでご安心ください。



### memo

- ◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。
- ◎ microSDメモリカード内のデータを再生/表示する場合は、データフォルダを利用してください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。

### ■ 取扱上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせください。

## microSDメモリカードを取り付ける/ 取り外す

### microSDメモリカードを取り付ける

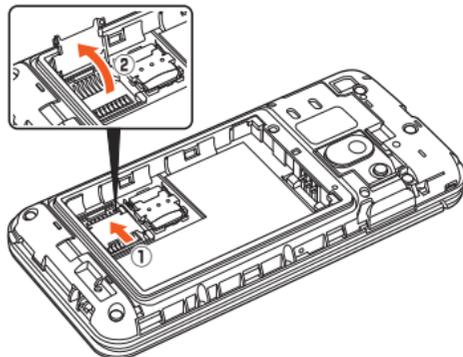
microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

#### 1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

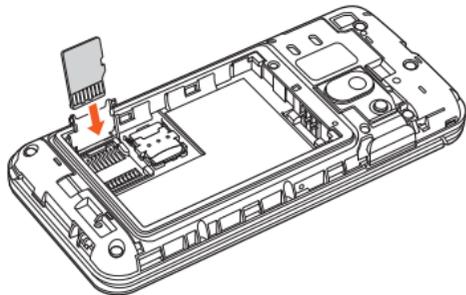
(▶P.32「電池パックを取り外す」)

#### 2 microSDカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つけるおそれがあります)。

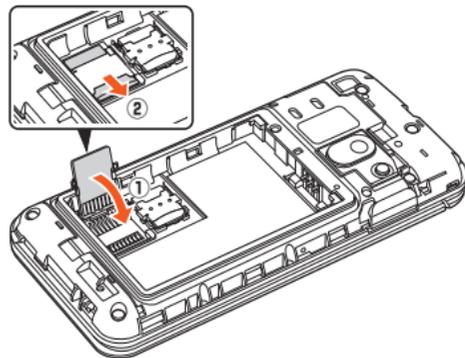


- 3** microSDメモリカードを矢印の方向にスライドさせ、microSDカードスロットカバーに取り付ける  
microSDメモリカードを差し込む向きに注意してください。



- 4** microSDカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする

カバーがうまく閉じない場合は、いったんカバーを持ち上げて、microSDメモリカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。



- 5** 電池パック・背面カバーを取り付ける  
(▶P.31「電池パックを取り付ける」)

#### memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとする则取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

## microSDメモリカードを取り外す

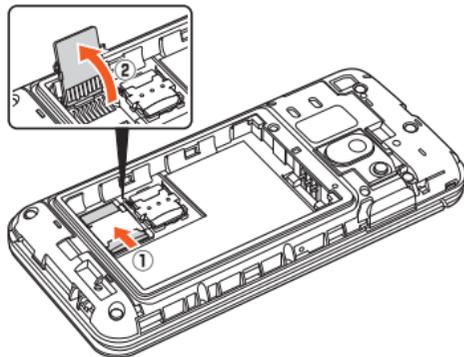
microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

### 1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

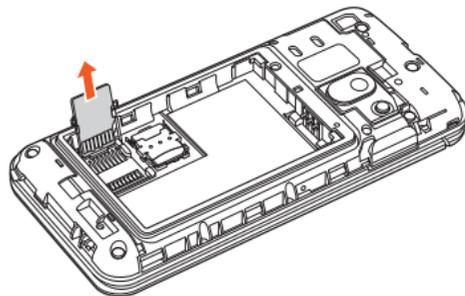
(▶P.32「電池パックを取り外す」)

### 2 microSDカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

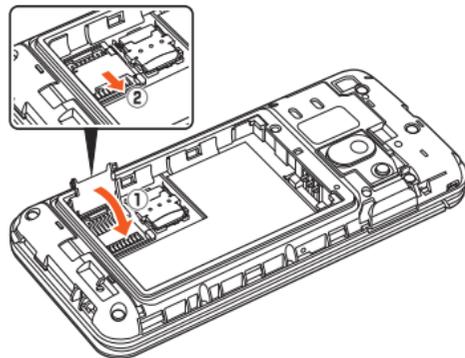
カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つけるおそれがあります)。



### 3 microSDメモリカードを矢印の方向にスライドさせ、microSDメモリカードを取り外す



### 4 microSDカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする



## 5 電池パック・背面カバーを取り付ける

(▶P.31「電池パックを取り付ける」)

### memo

- microSDメモ리카ードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

## 充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電中は充電／通知ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、充電／通知ランプが消灯します。

### memo

- 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- 本製品の充電／通知ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡ください。

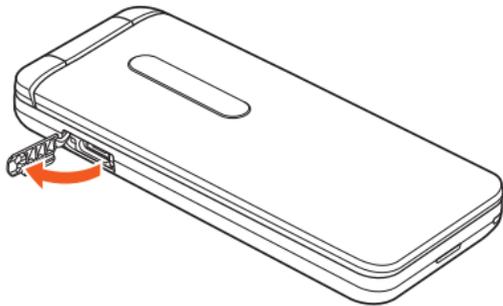
- 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 充電中、充電／通知ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、「」が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。
- 外部接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

## 指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

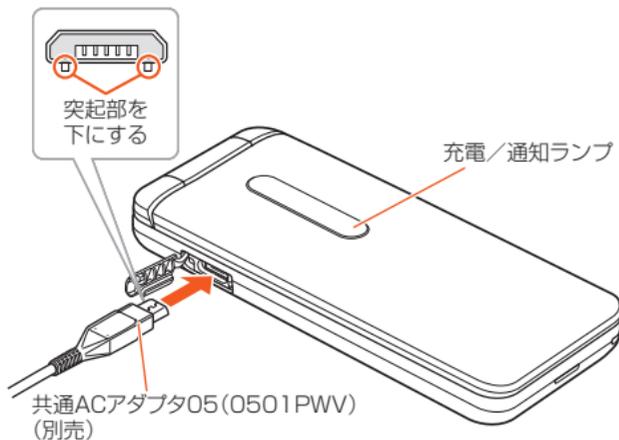
共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)を接続して充電する方法を説明します。

最新の対応周辺機器につきましては、UQコミュニケーションズのホームページにてご確認ください。UQお客様サポートセンターにお問い合わせください。周辺機器はUQコミュニケーションズのホームページからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。

### 1 本製品の外部接続端子カバーを開ける



- 2 共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む**



- 3 共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む**

本製品の充電/通知ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。

充電が完了すると、充電/通知ランプが消灯します。



共通ACアダプタ05  
(0501PWV)(別売)

- 4 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く**

- 5 外部接続端子カバーを閉じる**

- 6 共通ACアダプタ05(0501PWV)(別売)の電源プラグをコンセントから抜く**



#### memo

- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 電池が切れた状態で充電すると、充電/通知ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

## 電源を入れる／切る

### 電源を入れる

- 1 を2秒以上長く押す

#### memo

- ◎ 電源がONになったとき、SIMカードを読み込むため、待受画面が表示されるまでの時間がかかる場合があります。この間、キーが動かなくなることがありますが故障ではありません。

### 電源を切る

- 1 を1秒以上長く押す

- 2 [はい]

### 強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

- 1 と  (マナー/シャッター) を同時に11秒以上長く押す

#### memo

- ◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

## UQ mobileポータルアプリ設定を行う

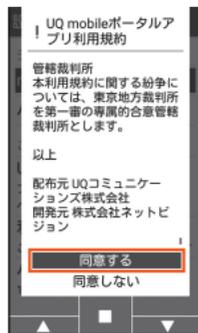
ご利用には、my UQ mobile IDとパスワードが必要です。初期値は次のとおりです。

my UQ mobile ID: UQ mobileお申し込み受け付け時に発行された「受付番号」

パスワード: お申し込み手続き時に入力した「暗証番号」

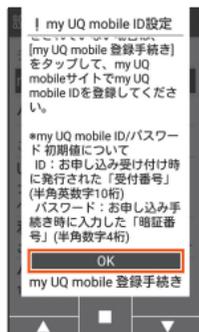
- ・ここでは「my UQ mobile ID」と「パスワード」を初期値のままで使用する例で説明します。

- 1 待受画面で  → [ポータルアプリ] → [同意する]



**2 [OK]**

「my UQ mobile ID」およびパスワードを変更する場合は、「my UQ mobile登録手続き」を選択します。

**3 [my UQ mobile ID]→my UQ mobile ID入力欄を選択→○→my UQ mobile IDを入力→[OK]****4 [パスワード]→パスワード入力欄を選択→○→パスワードを入力→[OK]****5 (次ページ)**

以降は画面の指示に従って操作してください。



## memo

- ◎ 言語の設定を「英語」に切り替えても、UQ mobileポータルアプリ設定の画面は日本語表示です。

## タッチポインターを利用する

本製品のタッチエリアに指で触れることでタッチパッドのように操作できます(タッチポインター)。タッチポインターに対応した機能／アプリを起動し、タッチポインターをONにすると、画面に表示されるポインターを操作できます。

- 1 タッチポインターに対応した機能／アプリを起動する**  
ステータスバーに「」(OFF)／「」(ON)が表示され、タッチポインターがONの場合は、「」(ポインター)が表示されます。
  - ・タッチポインターがOFFの場合は、「タッチポインターをONにする」(▶P.43)を参照ください。
  - ・タッチポインターの起動確認画面が表示された場合は、内容を確認してから「この画面を閉じる」を選択してください。「今後表示しない」にチェックを入れると、次回以降、起動確認画面が表示されません。

### ■ タッチポインターをONにする

- 1  を1秒以上長く押す**  
タッチポインターのON／OFFの設定が切り替わります。
  - ・タッチポインターがONの場合でも、キー操作は可能です(一部のアプリを除く)。

## タッチポインターの操作について

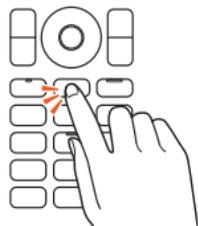
ブラウザなどを操作するとき画面上的ポインターをタッチパッドのように操作できます。



### ■ タップ／ダブルタップ

タッチエリアに軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- ・目的の項目の上に「」を移動してタップすると、その項目が決定(実行)されます。



## ■ ロングタッチ

タッチエリアに軽く触れて、指を離さない状態を保ちます。タッチエリアをタップすると、「」に戻ります。



## ■ スライド

タッチエリアに指を軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。矢印はスライドした方向に動きます。

- タッチエリアをロングタッチすると「」が「」になり、スライドして画面をスクロールできます。
- 画面の端にポインターがある状態で、画面外に向かってスライドしても、スライドした方向に画面はスクロールします。



## ■ フリック

タッチエリア上で指をすばやく上下左右にはらうように操作します。矢印はフリックした方向に動きます。

- タッチエリアをロングタッチすると「」が「」になり、フリックして画面をスクロールできます。
- 画面の端にポインターがある状態で、画面外に向かってフリックしても、フリックした方向に画面はスクロールします。



## ■ ズームイン／ズームアウト

2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり(ズームイン)、閉じたり(ズームアウト)します。



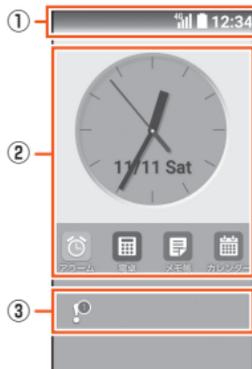
### memo

- ◎ タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- ◎ 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - シールなどを貼っての操作
  - 水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

## 待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

### ■ 待受画面の見かた



《待受画面》

- ① ステータスバー  
待受画面の状態を確認できます。
- ② ウィジェットエリア  
ウィジェットやアプリを利用できます。
- ③ 通知表示  
不在着通知やお知らせ通知などが表示されます。

## 待受画面のショートカットを利用する

待受画面に表示されたウィジェットや通知表示をショートカットとして利用できます。

- 1 待受画面で(1)→項目を選択→(2)
  - ・通知表示を選択すると通知内容が吹き出しで表示されます。

## 待受画面のウィジェットを編集する

待受画面に表示されているウィジェットを編集します。

- 1 待受画面で(3)→[設定]→[壁紙・ディスプレイ]→[待受画面]→[ウィジェット編集]
- 2 ウィジェットエリアで空きスペース/ウィジェットを選択→(4)

3 追加	選択した空きスペースにウィジェットを追加します。「ウィジェット」「アプリ」から追加したいウィジェットを選択します。
並び替え	選択したウィジェットを並び替えます。移動したい位置にウィジェットを移動→(5)で並び替えできます。
削除	選択したウィジェットを削除します。

## ステータスバーを利用する

### アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信や実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

### ■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールまたは新着SMSあり
	テレビ(ワンセグ)の視聴予約開始
	通話中、着信中
	伝言メモあり
	本体の空き容量低下
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり

### ■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態  100% /  残量なし /  充電中
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界)  :レベル4  :圏外  :通信中 ・ネットワークを示すアイコンが表示されます。  :4G(LTE)使用可能  :ローミング中
	SIMカード未挿入
	マナーモード状態  :マナーモード  :ドライブモード  :サイレントモード  :オリジナルモード
	ハンズフリーで通話中
	着信音の音量を「0」に設定中
	通話中のマイクを「OFF」に設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ  ~  :レベル表示  :通信中
	伝言メモ設定中  :伝言メモ設定中 /  :伝言メモ全件録音済み

## 通知／設定パネルを利用する

通知パネルでは、通知内容の確認や対応するアプリの起動ができます。設定パネルではWi-Fi®やBluetooth®などの機能のON/OFFをすぐに設定できます。

### 1 **F2** を1秒以上長く押す

通知／設定パネルが表示されます。

- 待受画面で $\odot$ →ステータスバーを選択→ $\odot$ と操作しても、通知／設定パネルを表示できます。

## 通知／設定パネルの見かた

$\odot$ / $\odot$ を押すと、通知パネルと設定パネルが切り替わります。



### ① 通知エリア

本製品の状態や通知内容を確認できます。

### ② 設定メニュー

よく使う機能のON/OFFを設定できます。

## 通知パネルを利用する

### 1 通知パネルで操作したい通知を選択→ $\odot$

通知に対応したアプリを起動することができます。

### ■ 通知を削除する

### 1 通知パネルで削除したい通知を選択→ $\square$ (メニュー)→[1件削除]→[はい]→[OK]

「全件削除」を選択すると、通知を全件削除することができます。ただし、電池残量表示など、削除できない通知もあります。

## 設定パネルを利用する

例: Wi-Fi®機能のON/OFFを切り替える場合

### 1 設定パネルで[Wi-Fi]

操作するたびにWi-Fi®機能のON/OFFが切り替わります。



### memo

- $\odot$  通知／設定パネル表示中に $\square$ / $\square$ を押すと、通知／設定パネルの表示を終了できます。

## サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、マナーモードや電池残量などの端末の状態、日付・時間、着信相手などの情報を表示してお知らせします。本製品を閉じているときに(マナー/シャッター)を押したり、本製品を閉じたときなどにサブディスプレイが点灯します。

### ■ サブディスプレイの見かた



### ■ 主なアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ(受信電界) 強 /  中 /  弱 /  微弱 /  圏外 / 機内モード設定中
	電池レベル表示 100% /  残量なし /  充電中
	マナーモード状態 : マナーモード       : ドライブモード : サイレントモード       : オリジナルモード
	不在着信
	新着Eメール
	新着SMS

## メインメニューを利用する

### 1 待受画面で

メインメニューが表示されます。

### 2 メニューを選択→

メニューはダイヤルキー(0~9、\*, #)に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

### ■ メインメニューの見かた



《メインメニュー》

## ■ メインメニュー一覧

メニュー	概要
カメラ	フォト／ムービーを撮影できます。(▶P.70)
UQお客様サポート	UQお客様サポートのホームページを表示します。ご利用料金の確認や各種変更手続きなどができます。
おサイフ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.67) ブラウザは、タッチポインター対応アプリです。
データフォルダ	撮影したフォト／ムービー、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。
ポータルアプリ	UQのポータルアプリを起動します。
TV	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービス(ワンセグ)を見ることができます。(▶P.71)
ツール	
アラーム	アラームを利用できます。
カレンダー	カレンダーを利用できます。
メモ帳	メモ帳を利用できます。
赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。
簡易ライト	簡易ライトを利用できます。
音声レコーダー	音声レコーダーを利用できます。
バーコードリーダー	バーコードリーダーを利用できます。
エコモード	エコモードを利用できます。
カウントダウンタイマー	カウントダウンタイマーを利用できます。

メニュー	概要
ツール	
ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。
漢字チェック	漢字チェックを利用できます。
OfficeSuite	Word、Excelなどのファイルを開覧できます。OfficeSuiteは、タッチポインター対応アプリです。
電卓	電卓を利用できます。
電話・メール	
通話履歴	着信や発信の履歴画面や、発信頻度を閲覧できます。(▶P.57)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.60)
通話設定	通話に関する設定をします。
スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.58)
Eメール	Eメールのアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.62)
SMS	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。(▶P.66)
緊急警報	緊急警報アプリを起動します。(▶P.4)
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.59)
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.74)



### memo

- ◎ アプリを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

- ◎ アプリのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ オールリセットを実行しても、プリセットされているアプリは削除されません。

## メインメニューを変更する

- 1 待受画面で○→□(メニュー)
- 2 [変更]→○でメニューを選択→○

## カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに好みのアプリを登録することで、アプリを簡単に呼び出すことができます。

- 1 待受画面で○→□(カスタムメニュー)  
カスタムメニュー画面が表示されます。
- 2 アプリを選択→○

## カスタムメニューにアプリを登録する

- 1 カスタムメニュー画面でアプリを登録したい場所を選択→□(メニュー)
- 2 [追加]→アプリを選択→○

## アプリを並び替える

- 1 カスタムメニュー画面で並び替えたいアプリを選択→□(メニュー)
- 2 [並び替え]→並び替えたい位置を選択→○

## アプリを削除する

- 1 カスタムメニュー画面で□(メニュー)
- 2 [削除]→削除したいアプリにチェックを入れる→□(削除)
  - ・ チェックを入れたアプリが削除されます。
  - ・ ㊟で全選択、㊞で全解除ができます。

## 共通の操作を覚える

### 基本的なキー操作を覚えよう

#### ■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の下部に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。



- ① 「スピーカー」は、**○**を押します。
- ② 「メニュー」は、**□**を押します。
- ③ 「マイクOFF」は、**⊗**を押します。
- ④ 「聞こえ」は、**⊗**を押します。
- ⑤ 「プロフィール」は、**⊗**を押します。

#### ■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、**○**や**⊗**で項目を選択して**○**を押します。

#### ■ 1つ前の画面に戻るには

**⏪**を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

#### ■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、**⏪**を押します。

- 一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- 通話中に各機能呼び出ししている場合は、通話が切れることがあります。
- 操作中の機能やアプリが終了します。

#### ■ 数字を入力するには

**[0]~[9]**を押すと、数字を入力できます。

数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、**○**を押すことで、数を増減できます。

#### ■ ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、データ一覧画面(リスト表示)などでは、**⏪**を押すと上に、**⏩**を押すと下にページスクロールできます。

## チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定のON/OFFを切り替えることができます。

また、データの「選択コピー」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択/選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	設定がON/項目が選択されている状態です。
<input type="checkbox"/>	設定がOFF/項目が選択されていない状態です。

## 本体を閉じたときにマナー／シャッターキーの操作を無効にする

### 1 待受画面で○を1秒以上長く押す→[OK]

本体を閉じると(マナー/シャッター)の操作が無効になります。  
もう一度○を1秒以上長押しすると解除されます。



#### memo

- (マナー/シャッター)の操作を無効に設定して本体を閉じていても、アラームやメール受信音などのお知らせ音は(マナー/シャッター)を押して止めることができます。

## 文字入力の方法を覚える

### ■ 文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[1]	▶ あいうえおあいうえお	▶ .@_—/:~?,'!1	1
	カタカナ(全角/半角) ▶ アイウエオアイウエオ	▶ .@_—/:~?,'!1	ダイヤル入力 1
[2]	▶ かきくけこ	▶ abcABC2	2
	カタカナ(全角/半角) ▶ カキクケコ	▶ abcABC2	ダイヤル入力 2
[3]	▶ さしすせそ	▶ defDEF3	3
	カタカナ(全角/半角) ▶ サシスセソ	▶ defDEF3	ダイヤル入力 3
[4]	▶ たちつとと	▶ ghiGHI4	4
	カタカナ(全角/半角) ▶ タチツテト	▶ ghiGHI4	ダイヤル入力 4
[5]	▶ なにぬねの	▶ jklIJKL5	5
	カタカナ(全角/半角) ▶ ナニヌネノ	▶ jklIJKL5	ダイヤル入力 5

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[6]	▶ はひふへほ	▶ mnoMNO6	6
	カタカナ(全角/半角) ▶ ハヒフヘホ	▶ mnoMNO6	ダイヤル入力 6
[7]	▶ まみむめも	▶ pqrSPQRS7	7
	カタカナ(全角/半角) ▶ マミムメモ	▶ pqrSPQRS7	ダイヤル入力 7
[8]	▶ やゆやゆよ	▶ tuvTUV8	8
	カタカナ(全角/半角) ▶ ヤユヨヤユヨ	▶ tuvTUV8	ダイヤル入力 8
[9]	▶ りりるれろ	▶ wxyzWXYZ9	9
	カタカナ(全角/半角) ▶ ラリルレロ	▶ wxyzWXYZ9	ダイヤル入力 9
[0]	▶ わをんわ。ー～! ? . 空白(λλ^-s)	▶ 0 空白(λλ^-s) ! ? . ' " _ -	0
	カタカナ(全角/半角) ▶ ワワンワ。ー～! ? . 空白(λλ^-s)	▶ 0 空白(λλ^-s)! "# \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ \ ] ^ _ {   } ~	ダイヤル入力 0

※ 行頭に入力する場合は大文字が先に表示されます。

文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
✖	小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) * (濁点)や* (半濁点)を 付加(可能な文字のみ) ▶、。ー～!? [空白(ΛΛ^-s)]		小文字と大文字を切り替え (可能な文字のみ) 文字確定時は ▶、。-!?		* 短く押す.... * 1秒以上 長押し.... +(プラス)
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示 (バック機能) 文字確定時は、改行			#	短く押す.... # 1秒以上 長押し.... :(ポーズ)
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	メニューから機能引用、定型文などの呼び出し 通常変換と予測変換の切り替え(文字種が「あ漢」の 場合のみ)				
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	文字入力時に、絵文字/顔文字/記号の一覧を表示 絵文字/顔文字/記号の一覧を切り替え				
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	文字種の切り替え ページ/カテゴリの切り替え(絵文字/顔文字/記 号/変換候補選択中の場合のみ)				

文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	文字を確定直前の状態に戻す ページ/カテゴリの切り替え(絵文字/顔文字/記 号/変換候補選択中の場合のみ)				
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小				
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大 カーソルが文末にある場合は、半角の空白(スペー ス)を入力				
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	カーソルの上移動 変換候補の選択				
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
Ⓜ	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				

文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
[Delete]	短く押す.....カーソル右側の文字を1文字削除 カーソル右側に文字がない場合は、 カーソル左側の文字を1文字削除 変換候補の選択時は、候補選択を抜けて1文字削除				短く押す.... 1桁削除
	1秒以上長押し.....カーソル右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にあ る場合は、文字をすべて削除				1秒以上 長押し.... すべて 削除

## 電話をかける

### 電話番号を入力して電話をかける

#### 1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

⊙:カーソルの位置を移動

⌫:一桁削除

⌫を1秒以上長押し:待受画面に戻る

⊞(登録):入力した電話番号を電話帳に登録します。(▶P.60)

#### 2 →通話

⊙(スピーカー/OFF):ハンズフリー通話ON/OFF

⊞(聞こえ):相手の声の聞こえかたを調整します。

⊞(マイクOFF/マイクON):ミュートON/OFF

⊞(プロフィール):プロフィールを表示

⊞:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節

⊞:通話を保留

⌫:通話メモ

#### 3

・本製品を閉じても通話を終了できます。

### memo

- ◎ 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- ◎ 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。

### ■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

### memo

- ◎ 日本国内の緊急機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に5分間解除されます。

## ■;(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に☞を押すと、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

### 1 電話番号を入力→[#]を1秒以上長く押す

1番目の:(ポーズ)が入力されます。

### 2 送信するプッシュ信号を入力



2番目の:(ポーズ)が入力されます。

※:(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

### 3 ☞→[はい]→[はい]

発信すると、確認画面が表示されます。送信先が電話を受けていることを確認してから「はい」を選択してください。「はい」を選択して☞を押すごとにプッシュ信号を送信します。



#### memo

◎ 電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

## 履歴を利用して電話をかける

### 1 待受画面で☉(発信履歴)／☉(着信履歴)

発信履歴／着信履歴一覧画面が表示されます。

発信履歴／着信履歴の他に、発信頻度も確認できるようになります。

・☉を押して発信履歴／着信履歴／発信頻度一覧画面を切り替えることができます。

☞:着信

☞:着信(伝言メモあり)

☞:不在着信

☞:不在着信(伝言メモあり)

☞:不在着信(ワン切り\*)

☞:着信拒否

☞:発信

※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

### 2 履歴から電話をかける相手を選択→☞

選択した相手に電話を発信します。

・発信履歴／着信履歴一覧画面で履歴を選択→☞と操作すると発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。発信頻度一覧画面では詳細画面は表示されません。

## ■ スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。

### ■ スピードダイヤルに登録する

- 1 待受画面で◎→[電話・メール]→[スピードダイヤル]
- 2 登録したい番号の<未登録>を選択→◎(編集)
  - ・連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができません。
- 3 登録する連絡先を選択→◎

### ■ スピードダイヤルで発信する

- 1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0~99)を入力
- 2 

◎(発信)を押しても、電話をかけることができます。

## ■ 海外へかける

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

- 1 国際アクセスコード「010」を入力  
ダイヤル画面で[✖]を1秒以上長押しすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
- 2 アメリカの国番号「1」を入力
- 3 市外局番「212」を入力  
市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。
- 4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→



### memo

◎電話番号の入力中に◎(発信)→[特番付加]→[国際電話]と操作しても国番号を入力できます。

## 電話を受ける

### かかってきた電話に出る

#### 1 着信中に☑/●(応答)

通話を開始します。

#### 2 通話→☒

### ■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- ・相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。

「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能\*」

\*相手の方が通知できない電話からかけている場合です。



### memo

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに「☒」が表示されます。

着信時に着信音をOFFにしたり、調節するには

◎着信中に(マナースイッチ)を押すと、着信音をOFFにすることができます。

◎着信中に(🔊)を押すと着信音量を変更できます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳などの他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。

◎ムービーを録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。

## 着信を拒否する

#### 1 着信中に☒(拒否)

着信音が止まって電話が切れます。相手の方は「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

・着信中に☒を押して着信拒否することもできます。

## 自分の電話番号を確認する

### プロフィールを確認する

#### 1 待受画面で●→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

・待受画面で●→☐と操作しても確認できます。

### プロフィールを編集する

#### 1 プロフィール画面で☒(メニュー)→[編集]

プロフィール編集画面が表示されます。

#### 2 必要な項目を入力

・編集中に☒(メニュー)→[項目追加]→追加する項目にチェックを入れる→☒(追加)と操作すると、項目を追加できます。

#### 3 ☒(登録)→[OK]



### memo

◎プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.60)をご参照ください。

◎プロフィール画面で☒(メニュー)→[リセット]→[はい]→[OK]と操作すると、プロフィールをリセットできます。

## 電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できません。連絡先ごとに着信音やバイブレータなどを設定することもできません。

### 1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

電話帳編集画面が表示されます。

### 2 必要な項目を設定

・登録中に☑(メニュー)→[項目追加]→追加する項目にチェックを入れる→☑(追加)と操作すると、項目を追加できます。

### 3 ☑(登録)→[OK]



#### memo

- ① 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ② 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
- ③ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は動作しません。
- ④ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまふことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⑤ 特定の連絡先を普段は表示させないようにしたい場合は、「シークレット設定」をONに設定してください。シークレット設定をした連絡先を表示するには、「表示設定」から設定してください。

## 電話帳の一覧を利用する

### 電話帳一覧画面を表示する

#### 1 待受画面で☑

#### ■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

#### ① ダイヤルキーで検索

電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、よみがなを入力して連絡先を検索できます。☑を押してよみがなを削除すると検索を解除します。

#### ② 連絡先

選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

#### ③ タブ

#### ④ 写真

登録している場合は、写真が表示されます。

## memo

◎ ⇄ を押してタブを切り替えられます。

## 電話帳の登録内容を利用する

1 待受画面で☐→連絡先を選択→◎

### ■ 電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

- ① 名前
- ② 登録内容
- ③ 写真
- ④ 通常使用の電話番号／通常使用のメールアドレス

## memo

- ◎ 登録内容を選択して◎を押すと電話の発信、メールの作成などができます。
- ◎ 電話番号／メールアドレスを選択して◎→[通常使用]と操作すると、通常使用の電話番号／メールアドレスに設定できます。
- ◎ ☐(メニュー)→[編集]と操作すると、登録内容を編集できます。

## Eメールの初期設定を行う

Eメールを初めて起動したときは、初期設定を行います。

### 1 待受画面で☑→[同意する]→[はい]

自動でアカウント作成処理が開始され、画面にメールアドレスが表示されます。

- SMSアカウントも同時に自動で作成されます。

### 2 ☑(閉じる)

## memo

- ◎ Eメールは有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳しくはUQお客様サポートセンターまたはUQコミュニケーションズのホームページをご確認ください。

## Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信箱」に保存されます。送信済みのEメールは「送信済み」に保存されます。

送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「下書き」に保存されます。

### 1 待受画面で☑

フォルダ一覧画面が表示されます。

### 2 [受信箱] / [送信済み] / [下書き] / フォルダを選択

→●

Eメール一覧画面が表示されます。

- ☑(2行切替 / 3行切替) : メール一覧の表示を切り替えます。

### 3 Eメールを選択→●

Eメール詳細表示画面が表示されます。

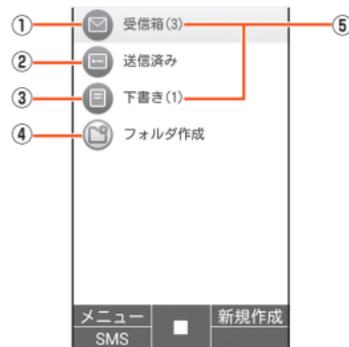
- ◀ : 前のEメールを表示
- ▶ : 次のEメールを表示

## memo

- ◎ 「受信箱」の容量を超えると、最も古いメールが自動的に削除されます。
- ◎ 「送信済み」 / 「下書き」の容量を超えると、最も古いメールが自動的に削除されます。

## ■ フォルダ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面には、「受信箱」や「送信済み」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。



《フォルダ一覧画面》

- ① 受信箱
- ② 送信済み
- ③ 下書き
- ④ フォルダ作成
- ⑤ 未読・未送信メール件数

## ■ Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》



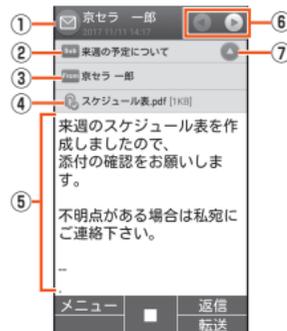
《送信メール一覧画面》



《下書きメール一覧画面》

- ① : 未読のEメール
- ② 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス  
Eメールアドレスが表示されます。
  - 電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- ③ 件名

## ■ Eメール詳細表示画面の見かた



※ 画面の下部に表示される内容は、実際の製品とは異なる場合があります。

- ① 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
- ② 件名
- ③ 差出人の名前またはEメールアドレス
- ④ 添付ファイル
- ⑤ 本文
- ⑥ 前のメール／次のメールへ移動
- ⑦ 詳細情報の表示／非表示

## Eメールを送る

- 1 待受画面で☑→☑(新規作成)  
送信メール作成画面が表示されます。
- 2 アドレス入力欄の「@」を選択→●  
アドレス入力欄に宛先を直接入力することもできます。

3 アドレス帳	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
メッセージ受信履歴	受信メール履歴/送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。
プロフィール	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け*	クリップボードに記憶されたメールアドレスを貼り付けます。

\*クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

- 4 件名入力欄を選択→●→件名を入力
- 5 本文入力欄を選択→●→本文を入力
- 6 ☑(送信)→[送信]



### memo

- 送信メール作成画面で📧(保存)を押すと、作成中のEメールを「下書き」に保存できます。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件までです。

## ■ 宛先を追加・削除する

### ■ 宛先を追加する場合

- 1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の「@」を選択→●  
宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送る」の操作③をご参照ください。

### ■ 宛先を削除する場合

- 1 送信メール作成画面→削除する宛先の「✕」を選択→●→[削除]

## Eメールを受け取る

### 1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ステータスバーにアイコンが表示され、メール受信音が鳴ります。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイにアイコンが表示されます。

### 2 待受画面で☑→[受信箱]

Eメール一覧画面が表示されます。

### 3 受信したEメールを選択→◎

Eメール詳細画面が表示されます。



#### memo

- ◎ Eメール受信音を変更するには、待受画面で☑→☑(メニュー)→[設定]→[通知]→[着信通知音]から選択してください。
- ◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

## Eメールアドレスを変更する

Eメールアドレスはメール設定画面で変更することができます。また、メール設定画面では、迷惑メールフィルターの設定、自動転送の設定ならびに、MMSメッセージの再配信も行えます。

### 1 待受画面で☑

### 2 ☑(メニュー)→[メール設定画面]→[はい]

メール設定画面が表示されます。



### 3 [メールアドレス変更・迷惑メールフィルター・自動転送]→[メールアドレスの変更へ]→画面に従ってメールアドレスを変更→[閉じる]→[OK]

• 迷惑メールフィルターの設定、自動転送の設定なども行えます。

### 4 ☑(メニュー)→[メールアドレス同期]→[はい]



#### memo

- ◎ メール設定画面が表示されると、タッチポインターがONになります。メール設定画面の機能によっては、タッチポインターでのみ操作ができます。タッチポインターについて詳しくは、「タッチポインターを利用する」(▶P.43)をご参照ください。
- ◎ 「メール設定画面」および「メールアドレス同期」を選択すると、メール設定サーバ(発信番号:0002001003 等)からSMSを受信しますが、このメッセージに対してお客様が操作する必要はありません。

## SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

### 1 待受画面で☎を1秒以上長く押す

- Eメールの初期設定を行っていない場合や、SMSを初めて起動したときは、初期設定を行います（▶P.62）。

### 2 ☎（新規作成）

SMS作成画面が表示されます。

### 3 宛先入力欄を選択→相手先電話番号を入力

### 4 本文入力欄を選択→本文を入力

本文は、全角70／半角160文字（全角、半角混在で70文字）まで入力できます。

### 5 ☎（送信）→[送信]

## SMSを受け取る

### 1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ステータスバーにアイコンが表示され、メール受信音が鳴ります。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイにアイコンが表示されます。

### 2 待受画面で☎を1秒以上長く押す→[受信箱]

SMS一覧画面が表示されます。

### 3 受信したSMSを選択→🔍

SMSの詳細画面が表示されます。



#### memo

- ◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- ◎ SMS受信音を変更するには、待受画面で☎を1秒以上長く押す→☎（メニュー）→[設定]→[通知]→[着信通知音]から選択してください。
- ◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

## インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

## データ通信を利用する

UQ mobileのインターネットへ接続するには、待受画面で①→[設定]→[無線・ネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[UQ mobile]と操作してください。

### ■ データ通信ご利用上の注意

- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータを送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

## ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

- はじめてWebページを表示したときは許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- ブラウザは、タッチポインター対応アプリです。
- Webページによっては、本製品の画面に最適化されずに表示する場合があります。

## ブラウザメニューを利用する

### 1 待受画面で②

ブラウザメニュー画面が表示されます。

### 2

ホームページ	インターネットに接続してWebページを閲覧できます。
お気に入り	登録したお気に入りの利用・管理をします。
Web検索・URL入力	URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。
履歴	閲覧履歴を表示します。
ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示します。
設定	ブラウザの設定を変更します。

## タッチポインターで操作する

タッチポインターの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。タッチポインターについて詳しくは、「タッチポインターを利用する」(▶P.43)をご参照ください。

### 1 タッチポインターを使って操作する

タップ:項目を選択したり、決定します。

フリック:タッチエリアをロングタッチして「」を表示した状態で、タッチエリアを上下にスクロールします。

- 画面の端にポインターがある状態で、画面外に向かってスライド/フリックしても、画面はスクロールしません。

ダブルタップ:画像を拡大/縮小します。

## カメラをご利用になる前に

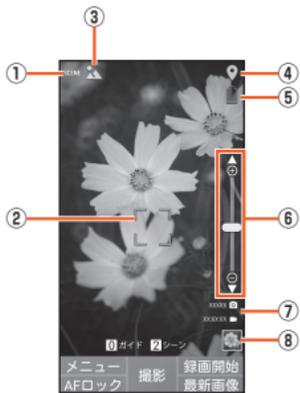
- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前にはめがね拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ・ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- ・撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

- ・マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にシャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・位置情報が付加されたフォトをインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

## 撮影画面の見かた

### 1 待受画面で📷

- 待受画面で📷→[カメラ]と操作してもカメラを起動できます。



#### ① 撮影モードアイコン

撮影モードを「連写」や「シーン」、「エフェクト」、「タイムラプス」に設定しているときにモードアイコンが表示されます。

- 設定しているエフェクトによっては調整バーが表示され、設定を調整できます。

#### ② フォーカス枠

#### ③ 撮影シーンアイコン／秒数アイコン

- 撮影モードが「シーン」の場合は、設定したシーンのアイコンが表示されます。
- 撮影モードが「タイムラプス」の場合は、秒数のアイコンが表示されません。

#### ④ 位置測位中／位置情報付加

📍(位置測位中) 📍(測位成功) 📍(測位失敗)

#### ⑤ 電池レベル状態

電池残量が少なくなったときに表示されます。

#### ⑥ ズーム

🔍を押すとズームバーが表示され、ズームを調整できます。

#### ⑦ 撮影可能残り枚数／録画時間

保存先のストレージ容量が少なくなったときに表示されます。

#### ⑧ 直前に撮影／録画したデータ

直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。

## フォト／ムービーを撮影する

### 1 待受画面で

モニター画面が表示されます。

### ■ フォトを撮影する場合

### 2 ●(撮影)または

ピントが合い、撮影されます。撮影したデータは自動的に保存されます。

### ■ ムービーを録画する場合

### 2 (録画開始)

録画が開始されます。

録画中に●(撮影)または  を押すと、フォトを撮影できます。

### 3 (録画終了)

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。



## memo

- ◎ 録画中に本製品を閉じると、録画が終了します。
- ◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ◎ スマイルシャッター撮影を「ON」にし、セルフタイマー撮影を行った場合、カウントダウン終了後に一度撮影後、笑顔を検出して、自動的に撮影します。
- ◎ 録画中は送話口(マイク)でのみ、録音できます。

## テレビ(ワンセグ)について

テレビ(ワンセグ)は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信できます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会

<http://www.apab.or.jp/>

### ■ テレビ(ワンセグ)利用時のご注意

- テレビ(ワンセグ)の利用には、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ(ワンセグ)画面表示中は、本製品が温くなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- テレビ(ワンセグ)は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はテレビ(ワンセグ)を利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。

### ■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
  - 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
  - 山間部やビルの際
  - 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
  - その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- 電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

### ■ テレビアンテナについて

本製品にはテレビアンテナが内蔵されています。

### ■ 電池残量少、高温時の動作

電池残量が少ない場合や本製品が高温になっている場合は、テレビ(ワンセグ)を使用することができません。また、電池残量が少ないと、テレビ(ワンセグ)を起動できません。

## テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビ番組を見ることができます。

**1** 待受画面で●→[TV]

**2** 地方を選択→●

**3** 都道府県を選択→●

**4** 地域を選択→●

受信可能なチャンネルを検索し、検索が終了するとチャンネルリストが表示されます。

**5** チャンネルリストを確認→●→[OK]

テレビ視聴画面が表示されます。

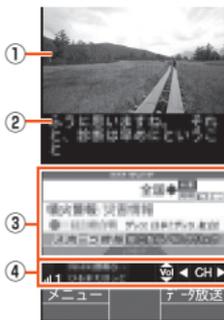
## テレビ番組を見る

### テレビ番組を視聴する

**1** 待受画面で●→[TV]

テレビ視聴画面が表示されます。

### テレビ視聴画面の見かた



《テレビ視聴画面》



《テレビ視聴画面（全画面）》

- ① 映像
- ② 字幕
- ③ データ放送
- ④ 視聴用リモコン

## ■ テレビ視聴中の操作

⏮:音量調節(15段階の音量または消音)

⏪:チャンネルの切り替え

⏩~[9]、[✖]、[#]:割り当てられたチャンネルへの切り替え

⏹(データ放送)を押すとデータ放送を利用できません。

⏮:カーソル移動、スクロール

⦿:項目を選択

⏹(Vol/Ch)/[277]:テレビ視聴の操作に切り替え



### memo

- ◎ テレビ(ワンセグ)を起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- ◎ 電波状態によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。
- ◎ 本製品を横向きにすると、全画面で視聴することができます。
- ◎ データ放送を見る場合は、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、データ通信料がかかります。

## 設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

### 1 待受画面で●→[設定]

項目	概要
壁紙・ディスプレイ	壁紙やディスプレイの明るさの設定、フォントサイズの切替などを行います。
サウンド・通知	マナーモードの設定や着信時の音量や音およびバイブレータのパターンなどを変更できません。
ロック	端末のロックの設定をします。
無線・ネットワーク	Wi-Fi <sup>®</sup> 、Bluetooth <sup>®</sup> 、NFC、おサイフケータイ <sup>®</sup> 、モバイルネットワーク、テザリングおよびVPNなどネットワークについて設定します。
エコ・電池	エコモード設定や電池利用状況の確認ができます。
オールリセット	本製品の初期化を行います。
その他の設定	カスタマイズキー、タッチポインター、セキュリティ、ストレージ、アプリ、位置情報、言語と入力、日付と時刻、ユーザー補助および端末情報などを設定します。

## 無線LAN(Wi-Fi<sup>®</sup>)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi<sup>®</sup>)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



### memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi<sup>®</sup>)親機(Wi-Fi<sup>®</sup>ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi<sup>®</sup>ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。

- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

## 無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

### 無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 待受画面で●→[設定]→[無線・ネットワーク]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®設定画面が表示されます。

- 2 [Wi-Fi]

Wi-Fi®がONに切り替わります。

### Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 待受画面で●→[設定]→[無線・ネットワーク]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

- 2 アクセスポイントを選択→●

- 3 パスワードを入力→🔑(接続)

「パスワードを表示する」をONにすると、入力中のパスワードを表示できます。



#### memo

- ◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- ◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用にならない場合があります。

## アクセスポイントとの接続を切る

- 1 待受画面で●→[設定]→[無線・ネットワーク]→[Wi-Fi]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→●→☒(削除)



### memo

◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

## 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	 と(マナー/シャット)を同時に11秒以上長押しすると強制的に電源を切り再起動することができます。	P.41
電源が勝手に切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.39
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.39
電話がかかれない	電源は入っていますか？	P.41
	SIMカードが挿入されていますか？	P.34
	電話番号が間違っていないですか？ (市外局番から入力していますか？)	P.56
	電話番号入力後、  を押していますか？	P.56
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.46
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.46
	サービスエリア外にいませんか？	P.46
	電源は入っていますか？	P.41
	SIMカードが挿入されていますか？	P.34
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.59
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.46
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	—

こんなときは	ご確認ください	参照
「  」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？	P.46
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.29
	UQ mobile Multi IC Card 01以外のカードが挿入されていませんか？	P.34
キーの操作ができない	電源は入っていますか？	P.41
	ロックが設定されていませんか？	—
	電源を切り、もう一度電源を入れてください。	P.41
タッチポインターが意図した通りに動作しない	タッチポインターの正しい操作方法をご確認ください。	P.43
	本体を閉じ、もう一度開いてください。 電源を切り、もう一度電源を入れてください。	— P.41
充電してくださいなど并表示された	電池残量がほとんどありません。	P.39
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.46
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ・赤色の充電／通知ランプが消灯するまで、充電してください。	P.39
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.18
	「  」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.46

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.46
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	—
テレビ(ワンセグ)が映らない／映像が止まる／音声 が止まる／ノイズがでる	電池残量が少なくなっていますか？	P.46
	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.71
	視聴している場所が、選択している地域と合っていますか？	P.72
カメラが動作しない	本体または電池温度が高温になっていませんか？温度によって機能を停止する場合があります。	P.16
	電池残量が少なくなっていますか？	P.46
カメラが動作しない	本体または電池温度が高温になっていませんか？温度によって機能を停止する場合があります。	P.16

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のUQコミュニケーションズのホームページのお客様サポートでご案内しております。

<http://www.uqwimax.jp/support/>

## ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

### ■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 詳しくは、京セラホームページのサポート情報をご覧ください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ローミング中は、ご利用になれません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、UQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでお問い合わせください。

## ソフトウェアをダウンロードして更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で◎→[設定]→[その他の設定]→[端末情報]  
→[ソフトウェア更新]

2 [ソフトウェア更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。



### memo

- ◎ 利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ ソフトウェア更新後に元のバージョンに戻すことはできません。

## アフターサービスについて

### ■ 修理を依頼されるときは

修理については端末故障受付センターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。



### memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

### ■ 補修用性能部品について

当社はKYF31本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 保証書(巻末)について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

## ■ SIMについて

SIMは、通信事業者からお客様にお貸し出ししたのになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、UQスポットまたはUQお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

## お問い合わせ先番号

### ■ 商品に関するお問い合わせ

UQお客様サポートセンター 一般電話・携帯電話などから  
0120-929-818(通話料無料)

受付時間:9:00~21:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話(050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

### ■ 電話機の修理に関するお問い合わせ

端末故障受付センター 一般電話・携帯電話などから  
0120-959-558(通話料無料)

受付時間:9:00~21:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話(050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

### ■ ホームページからのお問い合わせ

- ・機器に関するご相談、お問い合わせ  
UQコミュニケーションズ株式会社(<http://www.uqwimax.jp>)

### ■ 端末補償サービスについて

端末修理サービスおよび盗難・紛失時の補償サービスをご提供します。  
サービスの内容については以下のホームページをご参照ください。  
<http://www.uqwimax.jp/plan/mobile/option/hosyou/>

## 主な仕様

ディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT透過型	
	854×480(FWVGA)	
サブディスプレイ	約0.93インチ、1色、有機ELディスプレイ	
質量	約130g(電池パック含む)	
充電時間 (目安)	共通ACアダプタ05(別売)	約120分
	連続通話時間	
	国内	約530分
	海外(GSM)	約380分
連続待受時間	国内	約530時間
	海外(GSM)	約560時間
連続テザリング時間	約410分	
Wi-Fiテザリング最大接続数	10台	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約51×113×16.7mm(最厚部 約17.7mm)	
内蔵メモリ容量	ROM:約8GB	
	RAM:約1GB	
カメラ有効画素数	約800万画素	
カメラ撮像素子	CMOS	
無線LAN(Wi-Fi®)機能	IEEE802.11b/g/n準拠	

Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.1 準拠※1
	出力	Class 1
	通信距離※2	10m
	対応プロファイル・機能※3	GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) SCMS-T(Serial Copy Management System-T) DUN(Dial-Up Networking Profile)※4
	使用周波数帯	2.4GHz帯
連続ワンセグ視聴時間		約6時間30分

※1 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

- ※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。  
 ※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。  
 ※4 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。



### memo

- ◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

## 携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYF31の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準<sup>(※1)</sup>ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.385W/kg<sup>(※2)</sup>、身体に装着した場合のSARの最大値は0.498W/kg<sup>(※3)</sup>です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

[http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts\\_press/fact\\_japanese.htm](http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みません。
- ※3 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ  
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ  
<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- UQコミュニケーションズのホームページ  
<http://www.uqwimax.jp/>

## FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

### Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

### Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



## FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

### Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

### Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

## European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.

The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg, and the highest SAR value for this device was 0.756 W/kg\*. As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: <http://www.who.int/peh-emf/en/>

\* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

## INSTRUCTION MANUAL FOR BATTERY PACK (KYF31UAU)

### Caution

- Do not open, crush, disassemble and dispose of in fire heat above (60°C): may cause burn, fire and explosion by mishandling.
- Follow Manufacturer's Instructions.
- Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.
- Dispose of used batteries according to local ordinances and/or regulations.
- Replace only with same KYOCERA Corporation type KYF31UAU battery pack.

### Charging Information

Nominal Specifications		
Item	Specification	Remark
Charging Current (Max.)	1.5A	-
Charging Voltage	4.35V	-
Charging Time (Std.)	3 hours	-
Ambient (Charge)	0 - 45°C	-

Charge Limits		
Battery Pack Model	Maximum Charge Current, A	Maximum Charge Voltage, V
KYF31UAU	1.5A	4.35V

## Declaration of Conformity

Product is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.

### Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.



## おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

### 1.おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスについて

1. おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスとは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を用い、おサイフケータイ<sup>®</sup>に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
2. おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスは、おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。

3. おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。
4. 一部のおサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスのみご利用いただけます。対応状況は各サービス提供事業者様にお問い合わせください。

## 2.FeliCaチップ内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ<sup>®</sup>のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます）の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ<sup>®</sup>の故障等により、FeliCaチップ内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ<sup>®</sup>の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ<sup>®</sup>の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ<sup>®</sup>をUQお客様サポートセンターもしくは端末故障受付センター、またはUQスポットまでご連絡いただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 3.FeliCaチップの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

3. UQコミュニケーションズは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

### 4.不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

### 5.その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまの通信サービスのご契約内容によっては、データ量に届いた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他の携帯電話機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。

2. おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ<sup>®</sup>の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスのご利用及びお客さまご自身のFeliCaチップ内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ<sup>®</sup>に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービス及びNFC機能をご利用いただけません。
4. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービス及びNFC機能がご利用いただけません場合があります。
5. 機内モード設定中は、おサイフケータイ<sup>®</sup>対応サービス及びNFC機能がご利用いただけません場合があります。

## おサイフケータイ<sup>®</sup>の機能をロックする

- 1 待受画面で○→[設定]→[無線・ネットワーク]→[NFC設定／おサイフケータイ設定]→[おサイフケータイロック]→○(次へ)
- 2 ロックNo.を入力→○→○  
おサイフケータイ<sup>®</sup>の機能がロックされます。

## おサイフケータイロックを解除する

- 1 待受画面で○→[設定]→[無線・ネットワーク]→[NFC設定／おサイフケータイ設定]→[おサイフケータイロック]→○(次へ)
- 2 ロックNo.を入力→○→○  
「おサイフケータイロック」が解除されます。

## 知的財産権について

### ■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



ACCESS、CosmoSiaは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

©2012-2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>およびWindows Vista<sup>®</sup>／Windows<sup>®</sup>7／Windows<sup>®</sup>8／Windows<sup>®</sup>8.1／Windows<sup>®</sup>10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup>の正式名称は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> Operating Systemです。

Microsoft<sup>®</sup>、Microsoft<sup>®</sup> Excel<sup>®</sup>、Microsoft<sup>®</sup> PowerPoint<sup>®</sup>、Windows Media<sup>®</sup>、Exchange<sup>®</sup>は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。Microsoft<sup>®</sup> Word、Microsoft<sup>®</sup> Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

Bluetooth<sup>®</sup>ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®, WPA®, Wi-Fi CERTIFIED ロゴ, Wi-Fi Protected Setup ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™, Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

☞は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。

iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

(1) ACCESS, ACCESSロゴ, Cosmosialは、株式会社ACCESSの日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

(2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore®3.0 Plusを搭載しています。

Copyright © 2013 E-Globoledge Corp. All Rights Reserved.

「スマートソニックレシーバー」は京セラ株式会社の登録商標です。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用

しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用し

ております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」

を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。

HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用して

います。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

「Suica」「モバイルSuica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

## ■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8, Microsoft® Windows® 8 Pro, Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista® (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate)の略です。

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

## ■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用方法および京セラ株式会社が別途認めた使用方法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

## ■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国政府機関が定める米国輸出規制(Export Administration Regulations、およびその他の関連法令)、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

## ■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ/電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

## OpenSSL License

### 【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

### 【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com))

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

# お問い合わせ先

■商品に関するお問い合わせ

## UQお客様サポートセンター

(一般電話・携帯電話などから)

0120-929-818 (通話料無料)

受付時間:9:00~21:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話(050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

■電話機の修理に関するお問い合わせ

## 端末故障受付センター

(一般電話・携帯電話などから)

0120-959-558 (通話料無料)

受付時間:9:00~21:00 年中無休

- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話(050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

■ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせ

UQ コミュニケーションズ株式会社

<http://www.uqwimax.jp/>



**キケン!**  
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、  
異常な発熱・焼損などの原因となり  
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク  
携帯電話・PHSのリサイクルに協力中。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2017年2月第1版

発売元:UQコミュニケーションズ株式会社  
UQモバイル沖縄株式会社

製造元:京セラ株式会社  
KTDA76KAXX- 02175Z